

広報

# ただみ

2  
2011 月号  
No. 489  
平成23年2月10日



## 今月の表紙

1月31日の「ただみこども教室」は、節分豆まきの日。学校が終わって貝見地区センターに集まった児童は13名。みんなで手に豆をもち準備万端、そこに鬼が現れ「鬼はそと」の元気な掛け声とともに一斉に豆をぶつけ鬼退治。最後に豆拾いを楽しんだ。

## 青少年健全育成

主張大会・標語入賞者表彰式.....	2~9
只見毎日杯ジャイアントスラローム大会 .....	10
福島県中学校体育大会スキー競技大会 .....	11
福島県建築文化賞優秀賞を明和小学校が受賞 他 .....	12~13
町の話題 .....	14~15

# 心に響いた熱い思いと言葉・感動の拍手 健全育成主張大会・標語表彰



▲賞状を手にする発表者と標語入賞者のみなさん

第25回只見町青少年健全育成主張大会・健全育成標語入賞者表彰式が、1月29日に朝日地区センターで行われ、将来の夢や希望、今の考えなど、発表者の気持ちが込められた熱い言葉に感動の拍手が送られました。

## 標語入賞作品

(敬称略)

部門	賞名	標語	所属	氏名
小学生の部	優秀賞	通学路 笑顔で見守る 地域の眼	明和小学校6年	き とう き 齋 藤 咲 希
	佳作	ありがとう 言える気持ちを大切に	只見小学校6年	め ぐろ つばき 目 黒 翼
	佳作	ありがとう 笑顔たくさん 只見町	朝日小学校6年	き づ ゆう ま 吉 津 悠 真
	佳作	かなえない 大きな夢を 目標に	明和小学校5年	きく ち み ゆう 菊 地 美 結
中学生の部	優秀賞	明日への 希望をもって 一歩ずつ	只見中学校2年	ば ば こう へい 馬 場 康 平
	佳作	ボランティア 未来の只見 守るため	只見中学校1年	き かい こうたろう 酒 井 康太郎
	佳作	手をつなぎ 共に歩もう 夢未来	只見中学校3年	い づか たく ま 飯 塚 拓 真
	佳作	大切に 自分の命 一つだけ	只見中学校3年	た なべ み き 渡 部 美 咲
高校生の部	優秀賞	おかえりと 迎える声の あたたかさ	只見高等学校1年	ほし かなみ 星 花那美
	佳作	故郷から 離れて感じた 大切さ	只見高等学校1年	かん け ゆうな 菅 家 祐有奈
	佳作	再確認 親への感謝 忘れずに	只見高等学校2年	まず きの もえ 鈴 木 萌
	佳作	「ありがとう」 伝えていませんか? この言葉	只見高等学校2年	いち じょう さやか 一 条 さやか
	佳作	ひきつごう 地域の伝統 いつまでも	只見高等学校3年	かき や かおり 関 谷 香央里
一般の部	優秀賞	辛い時 心を癒す 家族愛	福 井	わた なべ みきこ 渡 部 美紀子
	佳作	あせらずに 我子の成長 信じよう	蒲 生	た なか ケイ子 田 中 ケイ子
	佳作	人と人 いたわる心 愛の町	只 見 ・ 沖	かん け のりこ 菅 家 のり子

主張大会では、小学生3名、中学生3名、高校生2名が、今思っていること感じていること、体験したことなどを心を込め発表しました。その熱い思いが約70名の来場者に伝わり、発表者の言葉に感動されていました。

続いて行われた標語入賞者表彰式では、青少年健全育成町民会議会長の目黒町長が、出席された入賞者一人一人に賞状と記念品を贈りました。標語には291点の応募があり、どれもすばらしいものでした。

主張大会での発表内容と、標語の入賞作品を紹介します。ぜひ、ご覧いただき、健全育成にご協力をお願いします。本事業は、町民の皆さんからの協賛金により実施されています。

# 医者になりたい



只見小学校6年  
馬場 真樹くん

祖父の心臓は止まり、肌は白く冷たくなっていった。僕は祖父のそばでぼう然としていた。

僕の祖父が昨年の十月に死んだ。大腸がんが肝臓に転移したためだという。二週間前まで家にいて、僕の目の前にいた人がもうこの世にはいない。ぼくはどうしようもなく、ただその場にいるだけだった。だがこれが現実だ。生き物はいつか「死」という終わりを迎える。僕は（なぜ生き物には死があるのだろう）（死なない生き物はいないのだろうか）そんなことを考えていた。しかし、くよくよしていてもどうしようもない。祖父はもうこの世にはいないのだ。

祖父の死は、僕にとってとても大きな出来事だったが、そこから得たこともある。それは「医者になりたい」という夢が大きくふくらんだことだ。

僕の祖父は八十二才まで生きたが、病気や事故などの事情で日本人の平均寿命である八十才に届かずに死を迎え

る人も数多くいる。だからこそ僕は、（医者になりそのような人達の人生を少しでも長く延ばせるように手助けしたい）、そう強く心に思った。

医者は病気やけがに苦しむ多くの患者の痛みを和らげ、助けることができる。そしていくつもの尊い命を救い、その家族にも幸せを与えられる素晴らしい職業だ。その一方でデメリットもある。それはミスが許されないことだ。どんな職業にも失敗はつきものだ。人間がすることである以上、体調や気分など様々なコンディションによって失敗はつきまとうものだが、医者には許されない。言い訳は許されない、できて当たり前前前の厳しい世界だ。もしも自分の担当した手術が失敗すれば患者の病気が治らない。それどころか患者の負担が前よりも増し、苦痛を与え、死に追いつめてしまうかもしれない。もしも僕が医者になり、誤って患者を死なせてしまったとしたらどうすればよいのだろうか。「自分のミスが原因で

患者の人生を終わらせてしまった」と自分を責めるかもしれない。患者にどう説明し、どう対応すればよいのだろうか。今の自分にはまだその答えは見つからない。今の自分に足りないものは、実は心の弱さなのかもしれない。

自分の理想とする医者は、患者を第一に考える医者だ。金や名声が目がくらむ医者は本当の名医ではないと思う。しかし、気持ちだけで患者は救えない。果たして自分が、理想とする医者になれるのかどうかはとても不安だ。医者には確かな知識と経験が必要だ。専門的な知識と技能を得るためには進学を本気でめざす高校や大学に行かなければならない。そのためには今の勉強をひたすらがんばらなければならない。毎日のんびりとテレビを見たり、ゲームをしたりしている場合ではないのだ。医者になるという目標をもったらさけては通れないことだ。

医者になるには、勉強だけでなくチャレンジ精神も必要だ。経験を通していろいろなことを得るには、何事にもチャレンジしようと思わなければならない。どんな名医でも、最初は研修医というゼロからのスタートだ。どんなこともチャレンジしてみなければ何も始まらない。普段の生活でも、やる前からあきらめる自分とは決別しなくてはならない。失敗こそが豊かな経験なのだから。

現在の日本の医療には問題点もあると思う。それは無医村地区があることだ。只見町にも診療所はあるが病院は

ない。住んでいる住所によって助かる命が助かりにくい場合もあると聞く。人間の命に重いも軽いもないはずだ。医者がいない地域でも病人やけが人は必ずいる。僕がもし医者になったら、都市部だけでなく、もっと広いところまで視野を広げなければならないと思っている。

世界にはやりたいことがあってもできない人がたくさんいる。今、僕はやりたいことがあればだいたいのは、チャレンジできる環境にある。やりたないことがあるのに、それをやろうとしない人がいるとするなら、それはおろかなことだと思う。僕には今、将来やりたいことがはっきりと見えてきた。あとはその目標に向かってどんな努力をしてどんな経験を積みばよいのかを考えなければならぬ。将来の夢に向かって、僕の心と頭をきたえなければならぬ。昨日の自分にさよならをして、新たな目標に向かってがんばる自分に出会わなければならないのだ。

この世に不可能なんてない。「やりたいことを見つけ、それに思いきってチャレンジする」。それが一番大事な事なのではないだろうか。だからこそ僕は、夢であり目標でもある「医者」になりたい。それが僕を大切に育ててくれている家族と、今はなき祖父への恩返しなのだ。僕は今、勇気と希望をもって将来の夢への第一歩をふみ出し

# 私の夢



朝日小学校6年

ほし かずほ  
星 一穂さん

「一穂は看護師さんになったら。」  
これは、私が四歳のときの母の言葉です。

そのとき私はまだ幼かったので、やりたいものといったら、セーラーマンのように、悪者を倒す正義の味方でした。そんな私への、「看護師になったら」という母の言葉。私は、母の思いつきも分からず、ただなんとなく、「うん、分かった。」と答えています。

去年、国語の授業で、読書紹介をする学習がありました。私が紹介した本は、「野口英世」の伝記です。この本は、母が私にすすめてくれました。

私はそのとき、母に、なぜこの本をすすめたのか聞いてみました。すると母は、私が小さい頃大やけどをしたことを話してくれました。

私が大やけどをしたのは、一歳のときです。母は台所で、熱湯の入ったやかんを持っていました。そのとき、母がやかんを落とし、母の足下にいた私

の体に熱湯がかかったのです。お湯は、肩から全身にかかりました。私は泣きわめき、母はとにかく、私の体にずっと水をかけ続けました。そして

「ごめんね。ごめんね。」と、泣きながらあやまり続けたそうです。

私の皮膚は、ベロンベロンにはがれたほどの大やけどで、診療所では治療ができないと言われました。そこで、救急車で別の大きな病院に行き、治療することになりました。

私が治療室に入ってしまったと、母は、私の様子が分からず、とても不安でこわかったそうです。でも、そのとき、母の心の支えになったのは、看護師さんたちでした。看護師さんは、何度も母のそばに来て、

「大丈夫。娘さん、がんばってますよ。」と優しく励ましてくれたそうです。

治療は無事終わり、予定では三カ月の入院だったのですが、なんと二週間で退院することができたのです。

今では、そんな大やけどをしたとは思えないくらい、傷あとはうすくなりました。でも、障害が残るかもしれないと医者に言われた母は、とてもこわかったと思います。それに、自分の不注意のせいだと、自分をとても責めたことと思います。でも、そんなとき、いつも優しく励ましてくれた看護師さんたちのおかげで、母の不安だった心はやわらいでいったのです。

この話を聞いて、私は、看護師という職業は、病气やけがの治療をするだけではなく、つらい思いをしている人々に優しく接し、勇気を与えてくれるすばらしい職業なんだと感じました。私は、母が、

「看護師さんになったら。」と言ってくれた気持ちが分かった気がしました。

私は今、毎日を元気いっぱい過ごしています。でも世の中には、病气やけがに苦しんでいる人がたくさんいます。私は看護師になり、そのような人の心を支えながら、病気を治す手助けをしたいと思うようになりました。

そのために、今私は、友達が困っているときは声をかけたり、友達と協力して活動したりすることを心がけています。また、誰に対しても優しい気持ちをもって接し、一生懸命勉強もして、看護師になるという私の夢が実現するよう、がんばりたいと思います。



# 転校を通して分かったこと

明和小学校6年

さいとう 齋藤  
さき 咲希さん



「どうしても転校しなくちゃいけないの。」

五年生の十月、明和に引越し、学校も変わると聞いた時、私は信じられない気持ちでした。

「転校」。私の頭に浮かんだものは、保育所から、ずっと一緒だった友達や大好きな先生との別れでした。(卒業まで後一年。みんなと一緒に卒業したい。)(鼓笛隊のトランペットだって、新しく入ってくる下級生に教えられる

ように、昼休みも進んで練習してきたのに。途中であきらめたくない。家を引越してからは、信じられなかった転校が現実と考えられるようになり、また。だから休み時間は友達といっぱい遊びました。友達が聞いてくれたお別れ会は、優しさがたくさん詰まっています。

三学期に入り、明和小での学校生活が始まりました。自己紹介はできたけれど、自分から話しかけることができません。(仲良しになるには、自分から話しかけよう。)私は、いつもよりはしゃいだ声で話したり、乱暴な言葉をつかったり、ふざけていたずらをしていました。

一週間経って、私は担任の先生に呼ばれて二人で話をしました。先生の話から、自分の乱暴な言葉が友達を傷つけていることや、私のいたずらを正しくないと思っている人がいることを知りました。先生は、

「みんな咲希ちゃんが来るのを楽しみにしていたんだよ。」とおっしゃいました。私は、それまで無理をして明和小に慣れようとしていました。でも、友達はそのままの私を待っていてくれたことを知ったのです。目から涙がポロポロ流れました。

この時から、私は明和小の一人になろうと心に決めました。明和小には初めてのことがたくさんありました。

まずクロスカントリースキーです。みんなは四年生から練習を始めていたのですが、スイスイと上手に滑っています。

靴をスキーに留めることも歩くこともできないのは私一人です。早く滑れないけど、必死でみんなを追いかけました。人一倍多く転びました。同級生や上級生が私を追い越す時、

「咲希ちゃん、がんば。」と声をかけてくれました。少しずつ上手になるように、一人、二人と話せる上級生も増えてきました。

クロスカントリースキーが終わると、私達五年生にはまた一つ、大きなハールドルがありました。それは六年生に感謝の気持ちを伝える「卒業生を送る会」を開くことです。全て自分たちで考えて協力しながら進めなくてはなりません。私は、すぐに飾り係に立候補しました。昨年の写真を参考に、今年はどうなるようにしようかと係で話し合いました。そして体育館いっぱい運動会の万国旗のようにメッセージをつり下げ一年生から五年生まで一人一文字ずつ書いてもらうことにしました。完成

できた時クロカンでお世話になった六年生に恩返しできた気がしました。六年生になった私は委員会の委員長に立候補したり、行事にも積極的に参加したりしました。そのうちに下級生の友達も増えていきました。明和小では年上の人に「兄(にい)」とか、「姉(ねえ)」をつけて呼びます。「咲希姉」と呼ばれると初めはピンときませんでしたがだんだん慣れていきました。運動会では紅組の応援団長もしました。ちょっぴりはずかしかったけど、とてもいい思い出です。

転校してさびしいと思ったことはありましたが、転校したから分かったことがあります。それは友達の存在の大切さです。前の学校での思い出はずっと私の心をはげましてくれました。そして明和小の友達は今までとちがう自分を発見させてくれました。新しいことに挑戦することに、自信がもてたのです。しかしそれは私一人ではできませんでした。先生や友達、両親とではありません。先生や友達、両親

の支えがあったから変わったのだと思います。改めて「ありがとう」と言いたい気持ちです。今年もクロカンの季節がやって来ましたが、優勝は大きな目標ですが、明和小の六年生としてクロカンの伝統を下級生に伝えるため一生懸命練習していきます。

また一つ明和小の思い出を増やして卒業したいと思っています。

## つながりのある町



只見中学校1年

めぐる たいせい  
目黒 大成さん

ちょっとした買った買い物でも車を出さなければ行くことができない。「セブンイレブンに行く」のは、心がはずむイベントです。電車は一日に数本、路線バスは廃線になってしまいました。私たちの町「只見町」は典型的な田舎の町です。少子化・過疎化が全国的にも問題視されていますが、「只見町」もまさしくそのとおりです。若い人たちは進学や就職を機に都市へ出て根をおろしてしまうのがほとんどです。生活するうえで不便さを考えると、しか

たのないことなのかもしれませんが、出て行く方も見送る方も、とてもさびしいことだと思えます。

只見中学校は、統合から三年間は一年二学級でしたが、今年度から二年生が単学級となってしまいました。町内の小学生の数を見ても、全学年が単学級になるのは、そう遠くないことだと思えます。

確かに、先ほどいったような不便さでは、若い人たちが返ってこないのしかたがないのかもしれませんが、この

まま若い人たちが減ってしまおうと、今、若い人たちも行っているトマト栽培までも、後継者問題が出てきてしまっています。

果たしてこのままでよいのでしょうか。只見にもよいところはたくさんあります。魅力の一つ目として、まず挙げられるのは「自然の豊かさ」だと思います。世界遺産級のブナ林はいうまでもありませんが、この地に住んでいるために気づかない魅力的な自然が、他にもあると思います。川を魚が泳ぐことすら珍しい都会とは比べものにならないと思います。開発することにお金をかけるのではなく、この貴重な風景を維持するために予算を費やすべきです。この自然を認める人は、都会にもたくさんいると思います。そういう人たちを受け入れることができれば、きっと町も活気づくことではないでしょうか。二つ目は、地域の人たちとふれ合う機会がたくさんあり、地域の人たちとの輪ができていくところです。都会では、隣にどんな人が住んでいるのかわからないといわれている中、私の近所の人たちは、私がどこの目黒さんちの子か、さらに何部に入っているのかも知っています。また、朝会うと、「おはよう。がんばれよ。」と声をかけてくださいます。みんな心が広く、みんな親切です。学校行事にも、子どもや孫が在学しているということに関係なく、多くの人が参加してくださいます。また、困っていると必ず手を差し伸べてくれます。田舎だからできることがあります。

不便だからこそ、地域の人たちとの団結力は、とても大きいです。

今、日本は六十五歳以上のお年寄りの数が二割を超え、世界で一番の長寿国となっています。只見町も、六十五歳以上の方の比率は、かなり高いはずですが、このまま大好きな只見の風景を、大好きな只見の人たちを守るために、私たちができることは、地域のつながりを感じ、大切に思うことだと思っています。自分も地域の一部なんだという自覚を持ち、先祖からおじいさん・おばあさん、おじいさん・おばあさんからお父さんお母さんへと受け継がれてきたバトンをしっかりと握って、次の世代に渡していかななくてはならないと思います。しかし、ただ受け取って渡すのではなく、自分たちなりにアレンジを加えて、新しい風を吹かせながら。みなさんも、今住んでいる場所が好きですか。愛着はありますか。次は私達が担っていく番です。責任を持って只見を担っていきましょう。



## チヨコレートから考える



只見中学校2年

鈴木 沙和さん

今、私たちは不自由のない生活を送っています。学校に行って勉強やスポーツをして、帰ると家族がむかえてくれて、食事也十分にとって、好きなことをして。こんなあたり前のことに感謝しているかと聞かれると、決して『はい』とは言えません。

そして、世界中の人々全員がこのような生活をしているかというところとは言えません。発展途上国では学校に行けず働かなければならない子どもがいたり、戦争で義足になったり家族を失ってしまったり、食べ物が足りずに栄養失調になったり、死んでしまう人々もいます。これらの国では三秒に一人が死んでいるというデータがあります。三秒に一人といえますと、一日に二万八千八百人が死ぬことになりまます。また、世界では小学校に行けない子どもが一億三千万人、働いている十歳以下の子どもが二億五千万人もいます。このデータを聞いたときには、何とかしたいと思いますが、すぐに別

のことに頭がいつて忘れてしまいます。

以前授業で、カカオの農園で働く兄弟のことを映したドキュメンタリーを見ました。カカオの木に登って実を摘み、集めるという仕事です。カカオは大人がやってもとれないほど、もぐことが難しく、木から落ちてケガをしようともあるそうです。彼らの母親は病気なので、彼らが働かなくてはならないのです。弟の方が、

「学校に行きたい。学校で勉強してお母さんの病気を治すお金をかせぎたい。」と言っていました。私は、勉強をあまりしないので彼の言葉にすごく感動しました。誰かのために小学生くらいの子どもが勉強を頑張るなんて絶対に言えないと思うからです。ましてや今から働けといわれても、私はそうできなないので、彼らはすごいと思ったからです。

テレビスタッフに兄の方が、「これが僕の宝物だよ。」と一本のぼろのボールペンを取り出しました。

ボールペンなんて日本では百円出せばすぐに買えるけれど、この国ではめったに手に入らないのです。しかも、ぼろぼろになるまで物を使いこんだことは私にはないので、同じ世界の子どもたちにこんなに差があつていいのかわかりませんでした。さらに見ていくと、彼らはカカオがチョコレートになることを知りませんでした。ガーナのカカオは九割が日本に輸出されているので、ひよつとすると私はこの兄弟のつたカカオからできたチョコレートを食べているのかもしれないと思いました。そしてかなり悲しくなりました。

しばらく見ていくと、番組の中で『フェアトレード』という言葉が出てきました。どんなことかというところ、農作物が悪い業者に安く買い取られてしまうことが多いので、農家の人と直接取引を引きをして、きちんと農家の人にお金がわたるようにしようという動きのことです。私は、世界が貧しい人々を救うために動き出しているのだと感動しました。けれども、フェアトレードだけではこれらの問題は解決しません。それに、まだフェアトレードになっていない農家もたくさんあると思います。問題は山積みです。医療のことや技術もまだまだ発達していないし、無理に発展させようとすると公害が起るかもしれない。

今、チョコレートを食べると彼らのことが頭に浮かんできます。そして彼らのために何ができるか口の中で食べながら考えます。

今できるようなようになるために、もっといろいろなことができるようになるために、もっともつといろいろなことを知って実行していけるようになりたいです。

## ゆとり世代に 生まれて

只見中学校3年

鈴木 宏汰 さん



私たちは、義務教育のほとんどを『ゆとり教育』の中で生活してきました。私たちには初めからそうだったのでピントきませんが、以前、土曜日は学校が休みではなかったそうです。ゆとり教育の中で私たちは授業を受けてき

ました。そして今、ゆとり教育は見直されようとしています。さまざまなメディアで「学力低下」とか「授業内容が増える」などと報道されています。では、なぜ『ゆとり教育』は始まったのでしょうか。その背景にあるのは、以前の教育は知識ばかり教えていて、考える力がついていなかったのでは、という反省です。そして、つめこみ教育、管理された環境に置かれて、と感じてしまい発生した、いじめや暴力などの社会問題でした。

そこで考える力を伸ばし、時間的にも精神的にも余裕を持たせることを目的に始まったのが、ゆとり教育という政策でした。それが原因かはわかりませんが、学力低下などを理由に、再び元に戻すことになったのです。

今は悪い面だけがとらえられていますが、果たしてゆとり教育とは悪い面だけだったのでしょうか。実際に学力が落ち込んでしまったのですから、批判されるのはしかたないのかもしれませんが、私にとっては有意義だったと感じています。勉強があまり得意ではない私にとっては、これ以上勉強する内容が増えたら、授業についていくのが精一杯になってしまいました。

今、私の学校では特定の教科に限って、習熟度別にコースに分かれて学習しています。自分の進度に合った学習を、同じくらしいレベルの仲間とできるので、授業を受けていてしっくりくるような感じがします。このような学習も、詰め込み式の学習になってしま

たら、一時間黙ってわからない授業を聞いているだけになってしまいます。とはいえ、学力が低下していると聞かされると、やはり不安になります。これからの中学生が習うことの中に、私たちが習ったことのない学習内容が出てくるのです。何か損をしたような気分にもなります。

しかし、学ぶという言葉がさすのは、机に向かって勉強するだけではないことを、私は感じています。社会に出たとき大切なのは、勉強だけではありません。人とのつながり、意欲、挑戦、あいさつなど、大切なことはまだまだあると思います。これらの基礎を、只見中学校の生活を通して学んできました。返事やあいさつができなければ、野球の試合になりません。何事にも挑戦する気持ちがないと、自分自身の成長はありません。また、相手を思いやる心がなければ人の輪の中には入っていけないのです。机に向かってやる勉強では、とうてい身につかないことです。実際に試して、感触をつかむことがとても大切なことだと思ふのです。万が一、失敗して相手にされなくても、改善策を生み出すカギが見えてくるはずだと思います。

私たち中学三年生は、これからそれぞれに進路に向かって、歩き出そうとしています。義務教育九年間の中では、さまざまな場面に遭遇しました。そのたびに悩んだり、友だちと励まし合ったりしました。壁におち当たったとき

の解決のしかたは、その都度、先輩や先生方に教わってきました。ゆつくり立ち止まって、深く考えて自分なりの最善の方法をとれるようにしていきたいと思いをもちます。

## みんなに優しい社会の 実現に向けて



只見高等学校1年

さいとう 未来さん  
齋藤 未来さん

「みんなに優しい社会」の実現に向けて、私はノーマライゼーションの考えが必要であると思います。ノーマライゼーションの理念は、障がいのある人をノーマルにするということではありません。障がいの有無、教育、労働などの生活条件を可能な限り障がない人と同じようにすることです。また、障がいの有無に関わらず、自分のライフスタイルが主体的に選択できる社会を目指しています。ノーマライゼーションは、現在は、障がいの有無だけではなく、年齢、性別、人種、国籍などの違いに関わらず、すべての人が同じような生活条件で暮らせることも意味する言葉です。

の1つです。従来、社会環境の整備や商品設計などは、一般的に健常者に合わせて行われ、障がい者などにとっての利便性は考慮されてきませんでした。これに対し、高齢者、障がい者等が社会生活をしていくうえで障壁となるものを除去するという考え方がバリアフリーなのです。現在、その考え方に沿って取り除くべき四つの壁が指摘されています。それは、物理的障壁、制度的障壁、情報面での障壁、意識上の障壁（心の壁）です。

でも対象としてバリアフリー化を義務づけるバリアフリー新法が成立しました。この法律によって、駐車場や道路なども含めたバリアフリーが推進されています。

次に制度的障壁とは、様々な資格、免許等の取得が、障がいを理由として制限、禁止されていることを指します。障がいを欠格事由とした法令には問題があるとして、一九九九年に一斉に見直しが行われました。

情報面の障壁では、音響式信号機や音声案内の導入、手話通訳者の養成、点字表記、字幕放送の普及などにより、障壁を無くす取り組みがなされています。

意識上の障壁とは、心ない言葉や視線、障がい者を庇護されるべき存在としてとらえるなどといったことを指し

ます。これに対し、学校教育や地域活動などにおける広報啓発活動により、バリアフリーの考え方を普及させる取り組みが行われている他、ボランティア活動による理解促進が行われています。

このように、障がいの有無や性別などに関わらず、すべての人が共に生活できる条件を整える「ノーマライゼーションの実現に向けて、「バリアフリー」という考え方が大きなカギを握ると私は考えます。未だに課題は多く残っていますが、高齢者や障がい者を施設に入れて切り離すのではなく、すべての人が生活できる社会を目指すことで、ノーマライゼーションが実現し、「みんなに優しい社会」に近づけるのではないのでしょうか。



▲標語（小学生の部）優秀賞「齋藤咲希さん」



▲標語（一般の部）優秀賞「渡部美紀子さん」



# 少子高齢社会対策について



只見高等学校2年

やまい まさみ  
山井 雅美さん

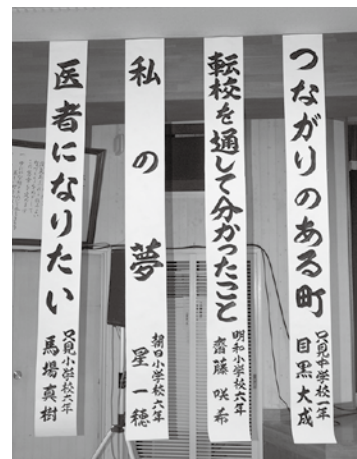
現在、日本が抱える深刻な問題の一つに、少子高齢社会が挙げられます。二〇〇七年には、六十五歳以上の高齢者が人口に占める割合が二十一・五パーセントになり、完全に高齢社会と言える状況になっています。元来長寿国と言われ、さらに医療技術が発展している日本では、この先も高齢者は増える一方であり、その結果、労働力人口の減少、年々増大する医療費の負担などが課題となってきました。こうした課題を解決するために、私は、少子化問題への対策に重点を置くことがよいと考えます。

少子化の原因となっているのは出生率の低下です。第一次ベビーブーム時には、女性が一生に産む子どもの数、すなわち合計特殊出生率は四・五以上の高い値を示していましたが、二〇〇九年には、一・三七にまで減少しています。出生率を上げるためにまず提案することは、職場での出産育児に関する制度の見直しです。出産、育児にあたり、産休、育休を利用する女性は多いのですが、人手が足りていない職場ではその制度を利用しづらい場合があります。さらに育児介護休業法で子どもが一歳になるまでは休暇がとれるようになっていますが、一歳までというのはあまりにも短いと思います。産休、育休を利用しやすい環境を整える。例えば、育児介護休業法の一歳までという期間を、小学校入学までに改善する。以上に加え、出産後も元の職場へ戻れるような保証を会社側でとれば、社会復帰が不安で出産をためらっていた女性も、安心して出産することができるようになります。

次に提案することは、家事や育児を女性任せにせず、男性にも協力してもらうことです。普段の家事に育児が加われば、女性にとってかなりの負担になります。日本の男性の家事、育児に費やす時間は世界的に見ても最低の水準となっており、男性の家事従事率の割合が低いと出生率も低い傾向になる

というデータがあります。政府は、エンゼルプラン、新エンゼルプランなどで保育所を増やしたり、社会全体で育児を支援しようとしています。しかし、家事労働の分担という動きがなければ、出生率増加にはつながりません。未だに家事や育児は女性がすることという意識が男性には根強く、家事は女性の仕事といった風潮が根強いのも事実です。こうしたことも少子化の一因ではないでしょうか。この意識を無くすためにも、男性の育児休暇を職場で推奨するといった動きが必要です。出産する当事者である女性の立場での対策が重要なのです。

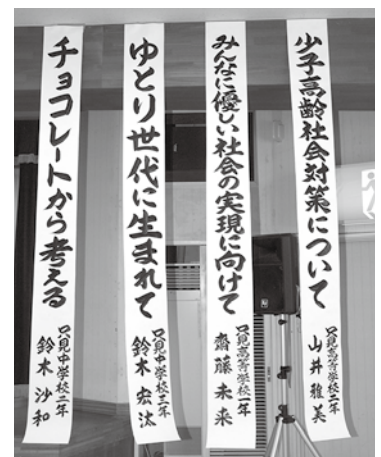
職場での出産、育児に関する制度を見直す。家事や育児を男性に協力してもらおう。こうした対策をとることで少子化の進行を止めることができると思います。そして少子化の進行を止めることで社会を支える若者が増え、高齢社会問題も解決につながるのです。



つながりのある町 只見中学校2年 目黒大成  
 転校を通して分かったこと 明和小学校6年 齋藤咲希  
 私の夢 朝日小学校6年 星一穂  
 医者になりたい 只見小学校5年 馬場真樹



▲来場者の前で思いを話す発表者



少子高齢社会対策について 只見中学校2年 山井雅美  
 みんな優しい社会の実現に向けて 只見中学校2年 齋藤未来  
 ゆとり世代に生まれて 只見中学校2年 鈴木宗汰  
 千ヨットから考える 只見中学校2年 鈴木沙和

# 華麗なカービングでポール攻める



▲攻めの滑りでゴールを目指す競技者

## 只見毎日杯 ジャイアントスラローム大会

1月23日、第38回只見毎日杯ジャイアントスラローム大会が、只見スキー場で行われ、雪の舞うなかでの競技には、町内外はじめ県外からのエントリーもあり、79人の競技者でタイムが争われました。

この大会は、福島県スキー連盟公認のB級ポイントレースとなっており、エントリーされた競技者は、セッティングされたコースのインスペクションを入念に行い、タイムを縮めるためのコース取りを思い思いにイメージしていました。

その後、スタート地点に集合した競技者は、緊張の面持ちでスタートバーを切り、コースに飛び出していきました。コースのコンディションは、ベストとはいきませんでした。競技者はレベルの高い華麗なスキーコントロールでカバリー、ゴール目指しスキーを滑らせていました。順位のタイムは、2本滑走した合計です。結果は次のとおりです。(敬称略)

### 男子

【小学1部】①五十嵐亮芽(南

- 郷ジュニアレーシング) 1分31秒63 ②河上雄大(南小岩小学校) ③星信清(檜枝岐スポーツ少年団)
- 【小学2部】①長谷部宏仁(フォートユニスポーツ少年団) 1分14秒00 ②渡部大輝(フォートユニスポーツ少年団) ③武藤憲(熱塩加納スキースポーツ少年団)
- 【中学】①菊地大樹(たかつえレーシング) 1分11秒88 ②長谷部尚仁(フォートユニスポーツ少年団) ③渡部穂高(フォートユニスポーツ少年団)
- 【少年】エントリーなし
- 【成年1部】エントリーなし
- 【成年2部】①新國健道(只見町スキークラブ) 1分13秒08
- 【成年3部】①目黒英樹(喜多方スキークラブ) 1分12秒05 ②石丸治(湯之谷スキークラブ) ③星弘(湯之谷スキークラブ)



▲タイムをチェックする競技者

### 女子

- 【シニア】①佐久間宗一(三島町スキースポーツ少年団) 1分19秒86 ②舟木孝一(三島町スキースポーツ少年団) ③鈴木隆司(福島県マスターズスキースキー協会)
- 【小学1部】①大島和(熱塩加納スキースポーツ少年団) 1分38秒42 ②星若葉(たかつえレーシング) ③福地芽生(熱塩加納スキースポーツ少年団)
- 【小学2部】①星朱音(だいくらSIEGER) 1分19秒95 ②白岩真帆(喜多方スキースポーツ少年団) ③馬場海羽(南郷ジュニアレーシング)
- 【中学】①室井美里(だいくらSIEGER) 1分16秒76 ②佐藤萌(柳津町スキースポーツ少年団) ③沢辺若葉(糸魚川中学校)
- 【一般】エントリーなし

# 男子回転で目黒郷さん(2年)が初優勝!



男子回転優勝  
目黒郷さん

喜ぶ瞬間

12月後半から1月にかけての北海道での合宿で調子を上げ、その流れで大会に臨めたのが良かった。回転競技は優勝をねらって滑った。プレッシャーはあまり感じず、思うように滑れたので自信はあった。全国大会は8番スタート、10位以内が目標。攻めの滑りで頑張りたい。



▲男子回転第1位の日黒郷さん [福島民報提供]

第53回福島県中学校体育大会スキー競技大会のアルペンとクロスカントリー競技は、1月12日から14日の三日間、猪苗代町の猪苗代スキー場ミネロとクロスカントリースキーコースで開かれ、只見中学校の特設スキー部からクロスカントリー部員16名、アルペン部員3名が出場しました。

特設スキー部は、昨年の12月から練習を開始、部員それぞれの目標達成に向け厳しいトレーニングを積み重ね大会に臨みました。その成果が表れ、実力を発揮した出場選手は、アルペン、クロスカントリーともにすばらしい成績を収めました。

特に、アルペン男子回転競技

で、目黒郷さん(2年)がポールを果敢に攻める積極的な滑りで見事に優勝するという快挙を成し遂げました。

全体の結果としては、全国中学校スキー競技大会に4名、東北中学校スキー競技大会には3名の選手が出場を決めました。また、クロスカントリーの男子リレーで第4位に、同競技の女子リレーでは第5位に入賞、さらに、男子総合で第3位、男女総合では第4位という結果を残し、只見中の名を響かせた大会となりました。

全国大会と東北大会への出場権を手にした皆さんを紹介し、おめでとうございます。



▲女子クロカン・フリー第9位に藤田百生さん

## 第53回福島県中学校体育大会 スキー競技大会

### 全国中学校スキー競技大会 (2月7日~2月10日：猪苗代町)

目黒郷さん	2年	男子アルペン 回転(1位) 大回転(7位)	出場権15位まで
鈴木達也さん	3年	男子アルペン 回転(8位) 大回転(6位)	〃
菅家将志さん	3年	男子クロスカントリー フリー(5位) クラシカル(15位)	〃
藤田百生さん	3年	女子クロスカントリー フリー(9位)	出場権10位まで

### 東北中学校スキー競技大会 (1月28日~1月30日：秋田県)

目黒郷さん	2年	男子アルペン 回転(1位) 大回転(7位)	出場権10位まで
鈴木達也さん	3年	男子アルペン 回転(8位) 大回転(6位)	〃
菅家将志さん	3年	男子クロスカントリー フリー(5位)	〃

全国大会・東北大会  
出場選手

文化の香り高い魅力ある学校

## 第29回福島県建築文化賞 優秀賞を明和小学校が受賞



▲賞状を手にする目黒町長(右)と齋藤教育長(左)

第29回福島県建築文化賞の優秀賞に明和小学校が選ばれました。表彰式は1月14日に杉妻会館(福島市)で行われ、目黒町長が出席、佐藤雄平福島県知事などから賞状や記念品が手渡されました。

今回受賞した作品は、周囲の景観、自然環境との調和や気候・風土などに配慮し、機能性にも優れていると高く評価された施設などです。

目黒町長は、「明和小学校は、統合によって空校舎となった中学校を小学校の校舎として再生し、省エネルギーを実現した建物であり、山々に溶け込んだ景観とともに自然首都・只見にふさわしい校舎。今後も、こうした環境整備を図り、自分の住む町を誇りに思う子どもたちの育成に努めていきたい」と受賞の喜びを話しました。

## 栄養バランスを考えたレシピ本を贈呈

## 福島県食生活改善推進連絡協議会

福島県食生活改善推進連絡協議会(須釜千代会長)

る定番レシピ本となつていきます。

から1月19日、只見高校3年生に、食育冊子「ひとりでも！クッキング」が人数分の53冊贈られました。今春、高校を卒業する3年生に栄養バランスのとれた食生活を送ってもらうと贈られたもので、冊子は日本食生活協会が編集、料理の基本から主食の料理、おかず、野菜のメニューなどを分かりやすく紹介。一人暮らしでも気軽に料理ができて

同協議会は、只見高校のほかにも会津地方の県立高校4校に冊子を贈りました。みなさん、活用してくださいね。



▲贈られた冊子を手にする只見高校生と関係者

雪像づくりの安全を祈願

## 只見ふるさと雪まつり 雪運搬式

冬の大イベント「只見ふるさと雪まつり」には欠かせない大雪像などを作るための雪を会場に運び込む作業が開始された1月18日、雪まつり会場で雪運搬式が行われました。

意事項を述べ、全員で作業の安全を祈願しました。大雪像「タージ・マハル」の作製作業は1月24日から行われています。

運搬式には、雪運搬用ダンプ10台が並び、オペレーター13名と関係者が出席しました。はじめに、目黒町長が「安全に留意され、連絡を取り合いながら効率的な運搬作業をお願いします」とあいさつした後、酒井恵治環境整備課長が運搬の注



▲安全を祈願した雪運搬式

## 重要文化財を火災から守る 平成23年文化財防火デー

過去に法隆寺金堂の火災により国宝の壁画が焼損した日、1月26日を文化財防火デーと定め、全国的に防災活動が展開されています。只見町でも同日、

この活動を通し、文化財保護の意識高揚が図られました。町民の皆さんも、町の貴重な文化財を火災から守るため、ご協力をお願いします。

国指定重要文化財の成法寺観音堂(梁取)と、県指定重要文化財の長谷部家住宅(叶津)で、防火査察が行われ、南会津広域消防署只見出張所と只見町消防団、成法寺護持会、教育委員会などの関係者が、各文化財の防火設備や防火対策の状況などを点検確認しました。



▲長谷部家住宅での防火査察

## 只見町豪雪対策本部を設置

年末からの豪雪により、1月21日、午前7時30分現在での只見町大字蒲生地内観測点の積雪深が2m43cmとなり、今後も雪が降り続くと、災害の発生や住民生活に重大な支障を来す恐れが予想されるため、同日午後5時10分「只見町豪雪対策本部」を設置しました。町では今後、交通の確保や住民生活安定のために一層の努力をしていきますので、町民皆様のご協力をお願いいたします。

なお、除雪作業は十分に気をつけて行なってください。

### 【連絡先電話番号】

- ▽町民生活課 82-5100
- ▽只見地区センター 82-2141
- ▽朝日地区センター 84-2111
- ▽明和地区センター 86-2111
- ▽環境整備課 (町道除雪関係) 82-5270
- ▽山口土木事務所 (国道除雪関係) 72-2234



▲役場に設置された看板と目黒町長

## 景気回復目指し前向きな取り組みを…

### 平成23年只見町新年交歓会

平成23年只見町新年交歓会が、1月5日に季の郷湯ら里で行われ、町内外から新年を祝おうと135名が出席、新年の抱負などを語り合いながら親交を深めました。

春にふさわしい舞踊3曲をご披露いただきました。最後に、只見町社会福祉協議会長の五十嵐辰男さんが音頭をとられ万歳三唱をして、閉会しました。

交歓会では、目黒町長と五十嵐拓町議会議長が年頭のあいさつを述べ、続いて、来賓の渡辺典雄福島県南会津地方振興局長と渡部勝博福島県議会議員から祝辞をいただきました。次に、只見松楓会の皆さんによる謡で新年の門出を祝い、菅家俊一只見町商工会長の音頭で乾杯をし、祝宴に入りました。アトラクションには、はぎの会の皆さんにご出演いただき、新



▲新年を祝う乾杯

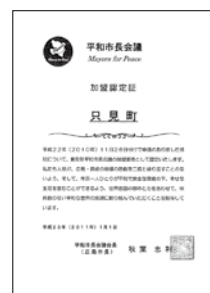
### 只見町消防団出初め式

#### 町民の生命と財産を守り生活の安定を…

1月9日、朝日地区センターで平成23年只見町消防団出初め式が行われ、副班長以上の幹部団員と関係者ら80名が参加しました。消防長の目黒町長が「消防団員としての職責を全うする自覚を新たにされ、町民の安全を守るとともに、防火意識の高揚に努めてください」と訓示を

述べました。また、鈴木好行消防団長は「本年も、消す消防よりも出さない消防に努めます。消防精神を堅持し、新たな決意をもって一層ご精進ください」と訓示を述べました。参加した団員は、新たな気持ちで今年一年の無火災を誓い合いました。

## 核兵器のない平和な世界に… 只見町が平和市長会議に加盟



▲加盟認定証

核兵器廃絶の実現は、世界大多数の願いです。核保有国をはじめとする各国政府の政策を変え、核兵器廃絶に向けた世界の潮流を創り出していくため、世界の都市が連帯して取り組みを強めていくことを目的に1985年8月に第1回世界平和連帯都市市長会議が開催、平和市長会議という機構が設立しました。以後、様々な核兵器廃絶に向けた活動が行われており、昨年11月現在、世界で149の国や地域にある4300を超える自治体が加盟しています。只見町は、平成23年1月1日付けで加盟、今後は世界の加盟自治体と連帯し、核兵器のない平和な世界の実現に向け取り組んでいきます。平和市長会議の会長は、秋葉忠利広島市長となっています。



▲大人顔負けの早さでカルタをとる保育所児

## ホ カルタ会 ールに響いた元気な「はい」の声

1月19日は、明和保育所のカルタ会の日。保育所児全員がホールに集まり、全部で8グループに分かれカルタとりが行われました。みんな、この日のために練習してきたのか、すばやい動作で正確にカルタに手を伸ばしていました。表彰式では、グループのなかで一番多くとった順に1等から3等までワッペンが渡されたほか、がんばり賞もありました。



▲思い思いの釉薬をぬり作品を仕上げる参加者

## 世 手びねり陶芸教室 界に一つだけの力作

1月15、16、29日に朝日地区センターで第1回手びねり陶芸教室が開かれ、5名が参加しました。最初はろくろを使い、材料の土を細長くこねながら重ね合わせ、湯のみやマグカップなどの器に形を整えていき、その後、出来た器に鉄や銅、コバルトなどを含んだ釉薬をぬり仕上げました。窯で焼く時間は約10時間、どんなオリジナル作品が完成するか、皆さん楽しみにしている様子でした。

## 便 パソコン教室 利な機能を使いこなそう

1月25日から朝日地区センターでパソコン教室が開かれ、13名が参加しました。参加者は、ワープロソフトのワードと、表計算ソフトのエクセルを学びました。ワードでは案内状などの作成で基本操作を覚えながら、写真や図形を入れる機能などを学び、エクセルでは集計表の作成から計算式の設定などを学びました。全7日間の日程で行われました。



▲スキルアップ目指し真剣に取り組む参加者

## 只 第10回ブナセンター講座 見の自然から生まれた民具

講師に、只見の自然に学ぶ会代表の新国勇さんを迎え、1月16日に、ただみ・ブナと川のミュージアムで第10回ブナセンター講座が開かれました。町内はじめ会津若松市などから約20名が参加され、主に生業で使われた、農具・用具や衣類と只見の民具の素材などについて、スライドや、実際に民具を見ながら説明を聞き、また問題集を解いたりして和やかに楽しく講座が行われました。



▲民具の形や素材を確認する参加者

## 先 只見の民具とその素材展 人たちの知恵や工夫を展示

古くから受け継がれてきた数々の民具が展示、紹介されている「只見の民具とその素材展」が、ただみ・ブナと川のミュージアム2階ギャラリーで開かれています。只見の先人たちの知恵や創意工夫が結集され、作り出されたソリやかんじき、コーシキ、など数々の民具が展示。名称や使い方などが分かりやすく解説されています。この特別展示は2月28日までです。



▲貴重な民具がならぶ展示スペース

## 大 体験・だんごさし きなミズの木にだんごの花



▲思い思いに手づくりのだんごをさす参加者

ただみ・ブナと川のミュージアムで1月15日に、だんごさしの体験イベントが行われ、15人が参加しました。だんごさしは、豊作を願う小正月の行事、もち米やうるち米の粉をねり、ゆでただんごに赤や黄、緑の食紅でカラフルに色づけした後、2mを超す大きなミズの木にみんなでさしました。このだんごさしは、2月に開かれる只見ふるさとの雪まつり当日まで飾られる予定です。

## 巧 つる細工教室 みな技を習得しよう



▲只見の貴重な民芸品を作り出す参加者

明和地区センターでは、毎週金曜日につる細工教室が開かれています。1月28日は11名が参加され、見事な手さばきで、くるみの皮を使った手さげバッグや、またたびを材料としたざる、ひろろ細工の札束入れなどを編んでいました。真剣な中にも時おり笑い声が聞かれるなど、和やかな雰囲気につつまれ、楽しい時間が過ぎていました。



# Anna 先生の Life in JAPAN Vol.4

■ Anna・George  
1987年生まれ。英国ノーフォーク出身。  
2010年8月から只見町英語指導助手。  
小学校と中学校で語学の指導を行います。

Happy New Year! あけましておめでとございます。

私は冬休みをイングランドで家族と過ごしました。家族は、夏に日本に来ることを楽しみにしています。私が日本を好きなように、彼らも日本を気に入ってくれるといいなあと思っています。

12月、ついに雪が降りましたね！イングランドから戻ってきたら、とてもびっくりました。映画やテレビの中でしか雪を見たことがなかったものですが、雪で覆われた山々はとてもきれいだと思います。晴れた日は特に、その美しさが際だっていると思います。南会津郡内のスキー場もオープンしました

ね。郡内全てのスキー場に行ってみたいなあと思っています。イングランドでは、ウィンタースポーツはできなくて、ヨーロッパでスキーやスノーボードをするにはとてもお金がかかるのです。冬にできることがたくさんある南会津に住んで、ラッキーだなあと感じています。

1月に、両国国技館で相撲を見てきました。とてもわくわくするもので、楽しんでみる事ができました。来年もまた行けたらなあと思います。次、東京に行くときは、江戸東京博物館にぜひ行きたいです。日本の歴史はとてもおもしろいので、楽しく学べます。会津若松にある県立博物館も行ったことがあるのですが、とてもおもしろかったです。正確に日本語の表示を読んだりできませんが、展示品をみるのを楽しんでいます。

2月には、楽しみにしている北海道旅行に行きます！中学生はテスト勉強をしなければいけないですが・・・テストがんばってください。幸運を祈ります！

(訳・只見中・福地)



## 広報ただみ診療所

朝日診療所 医師 星野 弘尊

### 「うつ病について」

今、日本は未曾有の不況に見舞われています。若者は明るい未来を描きにくくなり、高齢者は介護福祉の不安を抱えています。そのような社会で、うつ病が問題となつていきます。

しょう。

うつ病の症状のポイントは『気分落ち込み』と『興味の喪失』です。どちらかが当てはまれば、うつ病の可能性がります。ポーツとすることが多くなり、口数が少なくなる。何をしても気分が晴れない、今まで楽しめていた趣味が楽しめなくなる、などの症状があります。さらに、『自分には何の価値もないと感じる無価値感』『自殺念慮・希死念慮』『パニック障害』が見られることがあります。身体症状として現れることもあり、『頭痛』『睡眠障害』『摂食障害からの体重増加、体重減少』などを認めます。うつ病になりやすい因子も知っているとよいでしょう。具体的には、女性、中年、低所得、主婦、アルコール、慢性疾患などがあります。さらに、卒業、自立、昇進、退職、離婚、死別、結婚、出産など、悲しいことだけでなく、嬉しいことも『きっかけ』になる場合があります。

冬も日照時間が短いという点でうつ病が多いといわれています。うつ病の治療の基本方針は、うつ病であることを本人、家族が納得し、『無理をせず、養生して、(場合によっては)薬を飲んで、回復を待つ』ことです。うつ病は「気の持ちよう」「努力」で変えられるものではありません。「頑張りたくても頑張りたくない」のがうつ病です。『がんばれ』と励ますのが逆効果なのは有名です。周りの人とうつ病のような症状が疑われる人がいたら、最寄りの医療機関の受診を勧めてください。うつ病は治すことのできる可能性のある病気です。治療には薬による治療と精神療法(行動療法、認知療法)があります。専門的知識を必要とする場合は、精神科の受診が必要です。『うつ病は心の風邪』という言葉が、『うつ病は放っておいても簡単に治る』という誤解を生んでいます。うつ病は、時間が経てば自然に治る病気ではなく、薬物治療や精神療法で積極的に治療する病気です。正しい知識を持って、自殺を防ぐことが必要です。周囲の人の様子に気を配り、支え合ってください。



# 町史

## ついでにおきの話

199

長岡・河井継之助記念館友の会会員  
高梁方谷会会員

小名 泰裕

### 河井継之助が愛した風景

▼今月号から小名さんによる6回の歴史連載がはじまります。埼玉県の本田技研工業(株)に勤務、戊辰戦争にまつわる史跡を訪ね、歴史を探る行動は神出鬼没、幕末志士を追って日本中を駆け巡っておられます。

▼河井継之助の魅力に惹かれて毎年来町され、只見の墓前祭でもおなじみの方です。

▼『戊辰戦争を歩く』(光人社)「長岡・只見を歩く、上野戦争」を執筆。週刊朝日別冊MOOK『週刊司馬遼太郎Ⅱ「峠」の世界八十里越』にも登場されています。

▼全国的な視野から見た只見のついでにおきを語っていただきます。

「あと30分で、只見の宿ですね」と、私が言うと、同乗者が「早く冷えた花泉が呑みたいものだ」と答える場所があります。そして、少し休憩をとり、田子倉湖を遠望するところでもあります。そこは、六十里越開道記念碑の石碑が立っている場所で、国道252号線が開通したときに建てられたものです。碑を読むと、昭和48年9月11日建立とあります。すでに、私は小学校に通っている頃で、それほどの昔ではないのです。今の高校生に、戦後の映像を見せて違和感がなくなる年代はと訊くと、「昭和45年の大阪万国博覧会のフィルムのあるからですね」と答えるそうです。しかし、昭和48年になって開通したところに只見の辛さがあるのです。

只見の宿です。それは河井継之助記念館です。この記念館は、六十里越国道の開通よりも早く昭和41年に開館しています。河井継之助ファンである私は、記念館の手前の叶津番所で蒲生岳を見上げるときに、「瀕死の継之助は、この山を見ることができたのだろうか」と、物思いにふけます。蒲生岳は雪食地形を象徴する只見町を代表する山で、会津のマッターホルンとも呼ばれています。只見は、河井継之助ファンにとって聖地のような場所ですが、一般の旅行者から見るとごく標準的な風景ではないかと思えます。唯一、雪食地形により急峻な山々がある点や全国屈指のブナの天然林があることなどが他の山間農村地と異なります。さて、継之助ファンが、只見の風景が何処かに似ていると問われれば、間違いなく岡山県高梁市と答えます。幕末時、河井

継之助の師、山田方谷がいた備中松山藩の地です。継之助も半年間、方谷のもとで『経世済民』について学んでいます。備中松山は、高梁川の両岸を山で挟まれた地で、城下町付近だけがわずかに開けている程度です。継之助が方谷のもとにいた長瀬の塾は、只見より、はるかに両岸の山が迫っています。日の出が遅く日の入りが早いのです。これは、高梁川の流量が少ないため大きな洲ができず、川幅が狭いためです。

河井継之助が、塩沢で亡くなる直前、傍にいた用人に、「継之助は、『方谷先生の云いつけを守った』と伝えてくれ」と話し、また、継之助の愛弟子、外山脩造には、師の方谷先生の教えを語っています。

「俺が死ぬば、侍は終りよ。寅(外山脩造)や、お前は商人になりやっさい」と言っているのです。

継之助は、只見の風景を見て、備中松山、長瀬の塾のことを思い出したに違いありません。師の山田方谷は、河井継之助の死を知り、のちに、河井家か

この二つの山間の地を方谷と継之助が結びつけました。只見、高梁の両地は、河井継之助が生まれ育った越後平野、長岡の城下町にはない風景なのです。

文を依頼されていますが、これを断り、「石碑を書くも恥ずかし死におくれ」と詠んでいます。



▶山田方谷の長瀬の塾(現JR方谷駅)からみた風景。丸は、河井継之助が見送る方谷に礼をした見返りの大榎

# 町民文芸



## 只見短歌会

十二月詠草

大塚栄一 指導

病みてより二十年もの歳月を数多の人に支へられ来つ  
吉津 政枝

音もなく雪積む夜半に息絶えし白寿の母の両手まさぐる  
古川 英子

針を持つ楽しみ未だ残る身は孫より預かる半纏を縫ふ  
皆川 恒子

異状気象に悩まされ来し一年ぞ農の納めと鍬を洗ひぬ  
渡部 ゆき子

軒下につるせし薬草乾きつつ吹く風冬の如く寒しも  
馬場 八智

施設より久びさに来て妹や姪らと正月楽しく過ごす  
五十嵐 英子

危篤ぞと言はれし姉に付き添へて姪らと共に除夜の鐘聞く  
齊藤 ちひろ

急須より落ちる滴を見つめつつ夫と在りし日をしみじみ思ふ  
目黒 富子

冬囲ひに小暗くなりし玄関に活けし黄菊は灯点る如し  
渡部 ヨリ子

鮮やかに店内狭しとシクラメン咲きをり外の吹雪を忘る  
新国 洋子

年末の支払ひ多く通帳の残高見つつ大き息つく  
新国 洋子

(出詠順)

## 只見俳句会

一月例会

目黒十一 指導

行進曲口づさみつつ年の暮  
洋子

鳶の声ひよろろ北風来る兆し  
敦子

晴天や土手の並びし鴨の群  
赤き実の枝を移りて冬の鳥  
礼

漬物に酸味の走る今年かな  
よくのびる焦目の匂ふ雑煮かな  
一灯

峰は雪椅子滑らせて医者動く  
閉ざしても松飾りある考古館  
恒夫

父の倍生きて晩学初句会  
雪おろし地蔵と宮に割りふられ  
吉児

鰐口に下帯一本七日堂  
鍋の香の水面這いけり炬燵舟  
邦男

冬ごもり谷間家並みの様変わり  
退庁に間のある時間暮れ早し

手垢なきあしたに夢を大晦日  
枯れ葦に囁く風や川光る  
隆堂

特売のパプリカ派手に冬の暮  
軒桁の高きに光る凍豆腐  
笑羊

冬田中ゆつくり過ぎる野良猫プー  
黒谷川ここが一番枯葉鳴る  
リウコ

肌寒や糞ふり込む二斗の樽  
低くある会津の空や十二月  
一穂

一転し吹雪の後に青い空  
赤鳥居雪に埋もれて村外れ  
修一

裸木と共に日射しを分かち合い  
雪搔きに声かけて行く配達夫  
康女

# 今月のお知らせ

## RECRUITMENT

### 募集

平成23年度  
南会津地方広域  
市町村圏組合臨時職員

南会津地方広域市町村圏組合  
事務局に勤務する臨時職員を募  
集します。

- 雇用職種 臨時事務補助
- 雇用予定人員 1名
- 応募資格
  - ①日本国籍を有する方
  - ②地方公務員法第16条（欠格事項）に該当しない方
  - ③年齢資格等
  - \*年齢・学歴は問いません。
  - ④条件
    - \*パソコンのワード、エクセルをある程度使いこなせる方。
- 勤務・待遇
  - ①勤務地  
南会津地方広域市町村圏組合

#### 事務局

- ②待遇 組合の規定による
- ③勤務日  
週5日 午前8時30分～  
午後5時15分

#### ●雇用の方法

面接及び書類審査（履歴書）  
により雇用予定者に通知します。

#### ●面接予定日

- ①面接日時  
応募者に別途連絡します。
- ②会場  
南会津地方広域市町村圏組合  
事務局（県南会津合同庁舎向）

#### ●応募手続き及び期間

- ①市販の履歴書に写真を貼り、  
必要事項を記入のうえ南会津  
地方広域市町村圏組合事務局  
に提出してください。
- ②受付期間  
平成23年3月3日（木）まで  
（執務時間中に限ります。）  
郵送の場合も、3月3日（木）  
必着です。

#### ●その他

この募集に関してご不明な点

## 電話番号

総務企画課	
総務班	☎ 82-5050
	☎ 82-5210
企画班	☎ 82-5220
町民生活課	
税務班	☎ 82-5110
町民班	☎ 82-5100
保健福祉課	
保健班	☎ 84-7005
福祉班	☎ 84-7010
産業振興課	
農林班	☎ 82-5230
交流推進班	☎ 82-5240
環境整備課	
地域整備班	☎ 82-5270
生活環境班	☎ 82-5280
会計室	☎ 82-5120
議会事務局	☎ 82-5300
農業委員会	☎ 82-5230
教育委員会	☎ 82-5320
学校給食センター	☎ 84-7180
只見保育所	☎ 82-2219
朝日保育所	☎ 84-2038
明和保育所	☎ 86-2249
朝日診療所 （歯科）	☎ 84-2221 ☎ 84-2612
訪問看護ステーション	☎ 84-2130
こぶし苑	☎ 84-2101
保健福祉センター	☎ 84-7005
只見地区センター	☎ 82-2141
朝日地区センター	☎ 84-2111
明和地区センター	☎ 86-2111

は、南会津地方広域市町村圏組  
合事務局総務係へお問い合わせ  
ください。

#### ▼問い合わせ

南会津地方広域市町村圏組合  
事務局  
〒967-0004  
南会津町田島字西町甲433  
1

☎ 0241-6210054

## 国家公務員採用試験

人事院では、国家公務員採用  
I種試験及びII種試験（大学卒  
業程度）を次により実施します。

#### ●I種試験

受付はインターネット又は郵  
送により4月1日（金）から4  
月8日（金）まで（郵送の場合  
は、受付最終日の通信日付印有  
効）、第1次試験は5月1日（日）  
に行います。

#### ●II種試験

受付はインターネット又は郵

送により4月11日（月）から4  
月20日（水）まで（郵送の場合  
は、受付最終日の通信日付印有  
効）、第1次試験は6月19日（日）  
に行います。

なお、申込用紙の請求や受験  
資格等の詳しい内容については、  
人事院ホームページ又は次にお  
問い合わせください。

#### ▼問い合わせ

人事院東北事務局

第二課 試験係

☎ 022-22112022  
ホームページ

http://www.jinji.go.jp/saiyo/  
sayohun

## 平成23年度 地域づくり応援事業

全会津十七市町村等で構成し  
ている「あいづふるさと市町村  
圏協議会」では、地域づくり・  
人づくりなどを積極的に実践す  
る団体を支援するため、ソフト

## 税 今月の納期

2月25日までに納めましょう

- 水道使用料（4期）
- 農集排使用料（2月分）

事業を対象とした補助金を次に  
より交付します。

#### ●募集期間

2月21日（月）～

3月14日（月）

#### ●対象事業

広域的な波及効果があるソフ  
ト事業、地域の特色・特徴を出  
したソフト事業、地域間交流に  
つながるソフト事業など。

#### ●補助金額

最大70万円（補助対象経費の  
3分の2以内）

#### ●申請書

次のいずれかにて入手してく  
ださい。

- ▽只見町役場総務企画課企画班
- ▽あいづふるさと市町村圏協議  
会ホームページよりダウンロ  
ード
- 「パーフェクトあいづ」  
http://www.aizu-furusato.com
- ▽あいづふるさと市町村圏協議  
会事務局

（会津若松市中央3-10-12）

### ●申請窓口

只見町役場総務企画課企画班

### ●結果通知

5月下旬予定

### ▼問い合わせ

総務企画課企画班

☎02441-8215220

あいづふるさと市町村圏協議会事務局

☎02442-2416312

## 生活

LIFE

### 確定申告

はじまりのす

### ●申告は正しくお早めに

▽平成22年分の所得税の確定申告受付は、2月16日(水)から3月15日(火)まで、消費税及び地方消費税(個人事業者)は、3月31日(木)までです。【注】税務署の閉庁日(土・日・祝日等)は、税務署では相談及び申告書の受付は行っておりません。また、新型インフルエンザへの対応として、申告書作成会場では職員がマスクを着用して執務する場合がありますので、ご理解をお願いいたします。ご来場される際には、感染予防のご協力をお願いします。

なお、申告書は、郵送・信書

便又は、e-Taxによっても提出可能です。

### ●e-Taxをご利用ください

▽自宅のパソコンから申告などの手続きが簡単にできます。e-Taxを利用して申告すると、①HPからカンタン申告、②最高5千円の税額控除、③添付書類が提出不要、④還付金がスピーディー、⑤3月15日まで24時間利用可能、となります。

※ご利用に当たっては、事前準備が必要となります。詳しくはe-Taxホームページ(www.e-tax.nta.go.jp)をご覧ください。

### ●あなたの確定申告をサポートします

▽国税庁では、確定申告を行うための様々なサポートサービスを提供しています。「医療費控除」や「住宅ローン控除」など、どんな書類を用意して、どうすればいいのかよく分からないといった皆様の声から、より分かりやすく、便利なサービスをご利用いただけるように、国税庁ホームページ(www.nta.go.jp)に「確定申告特集ページ」を開設しています。確定申告に関する一般的な相談は、「電話相談センター」をご利用ください。税務署に電話をおかけいただき、自動音声応答(音声ガイダンス)にしたがって番号「0」を選択してください。

## 町長室日誌

〈1月分〉

- 4日 仕事始め式(広域消防署只見出張所、こぶし苑等医療福祉関係出先機関、役場本庁、西部環境衛生組合)
- 5日 新年交歓会、年始知事懇談会
- 6日 県庁挨拶回り、福島民報社及び福島民友新聞社本社訪問、電源開発(株)東日本支店長外来庁
- 7日 仕事始め式(南会津地方広域市町村圏組合消防本部)
- 9日 消防出初め式
- 11日 定例庁議、南会津建設事務所長来庁
- 12~13日 市町村長特別セミナー
- 14日 福島県建築文化賞表彰式
- 17日 新任人権擁護委員挨拶に来庁、南会津地方広域消防本部消防長外来庁、只見郵便局長来庁、田島自動車学校社長外来庁
- 18日 雪まつり雪運搬式、南会津農林事務所長来庁
- 19日 会津みなみ農業協同組合長外来庁
- 21日 会津総合開発協議会会津地方の豪雪による除雪等に関する緊急県要望、臨時庁議、豪雪対策本部設置
- 23日 只見毎日杯GS大会
- 24日 社会福祉法人南会津会評議委員会及び理事会、南会津地方広域市町村圏組合管理者会
- 25日 ふるさとの雪まつり実行委員会、南会津地方広域市町村圏組合管理者予算査定、東邦銀行親和会新年会
- 26日 黒谷土地改良事業組合長外来庁
- 27~28日 少子高齢化時代のまちづくり~活力あるまちづくり研修会
- 29日 青少年健全育成主張大会同標語表彰式及び只見町青少年健全育成町民会議専門部会
- 31日 会津ただみ振興公社臨時株主総会

## 住民基本台帳の 閲覧状況の公表について

住民基本台帳の閲覧は、国又は地方公共団体が法令に定めのある業務か、世論調査などの公共性があり、行政の政策に反映されるなどの場合にのみ認められています。

住民基本台帳の閲覧状況を住民基本台帳法の規定により下記のとおり公表します。  
(平成22年1月1日から平成22年12月31日)

国又は地方公共団体 (住民基本台帳法第11条第3項に基づくもの)

請求機関の名称	閲覧年月日	請求事由の概要	閲覧にかかる住民の範囲
防衛省	平成22年10月29日	自衛官募集に伴う広報のため	平成5年4月2日から平成6年4月1日までに生まれた男女 平成8年4月2日から平成9年4月1日までに生まれた男子

個人又は法人 (住民基本台帳法第11条の2第12項に基づくもの)

閲覧申出者の氏名	閲覧依頼元	閲覧年月日	利用目的の概要	閲覧にかかる住民の範囲
特定非営利活動法人森林野舎会 会長 加藤雅之	福島県	平成22年8月5日	会津・南会津地域医療再生支援フォローアップ事業に係るアンケート調査のため	20歳以上の男女

☎02441-6211230

### ▼問い合わせ

田島税務署

# 町民の消息

(1月1日～1月31日届出分・敬称略)

## ■お誕生おめでとうございます

太田原 彩那(女/正 芳・愛) 大倉

## ■ご結婚おめでとうございます

石 伏 五十嵐 友春♡新潟県 羽賀 すみゑ

## ■おくやみ申し上げます

菅 家 道 夫	82才	只	見
菊 地 琴 枝	74才	長	浜
菅 家 彰 善	80才	黒	谷
木 津 キヨ子	82才	黒	谷
仲 井 一 夫	65才	長	浜
渡 部 涉	60才	小	川
五十嵐 史 信	73才	只	見
渡 部 敬 一	59才	小	川
船 木 寅 佐	95才	黒	谷
永 井 タケヨ	91才	大	倉
五十嵐 忠	79才	蒲	生

※「町民の消息」欄に掲載を希望されない方は、届出のときにその旨をお伝えください。

# 人のうごき

平成23年1月1日現在

人 口	4, 9 2 2 (+ 1)
男	2, 3 4 7 ( - )
女	2, 5 7 5 (+ 1)
世帯数	1, 8 6 6 (+ 1)
高齢化率	4 1. 4 %

※高齢化率とは、65歳以上の人が人口に占める割合です。

転入 9 転出 4 出生 1 死亡 5

▽立春の前日は節分です。春を迎える喜びとともに一年の災いを祓う節分の豆まきは、奥ゆかしい風習であり、用いられる豆は幸福を呼ぶ豆として親しまれています。只見の豆まきは、地区によって違いがあります。子どもたちが集会所などに集まって行う豆まき。また、各家々をめぐり行う豆まき。どちらにしても、子どもたちの豆入れ袋は豆と一緒にまかれるお菓子やみかんなどで満杯に。ずっしりと重くなった宝の袋を笑みを浮かべ嬉しそうに持ち帰る姿は古くから続く節分の光景。みんなの心に残る思い出です。

## あとがき

まちづくり推進員  
若林 奈津子

朝日地区センター  
図書室 ☎ 84-2059

# おすすめ新着図書

## ★KAGEROU



齋藤 智裕/著 (ポプラ社)  
ポプラ社小説大賞受賞作品「KAGEROU」-儂く不確かなもの。  
元人気俳優水嶋ヒロの話題の処女作です。最大テーマは「命」。重くなりすぎず、文字も大きく、表現も比較的ストレートで理解しやすいので、中学生くらいから読むことができると思います。  
ぜひ手に取って読んでもらいたい本です。

## ★サバイバル登山家



服部 文祥/著 (みすず書房)  
フリークライミング、沢登り、山スキー、アルパインクライミングからヒマラヤの高所登山までこなす登山家服部文祥が綴る、ノンフィクション作品です。  
たくさんの山を登り、数えきれないほどの夜を山で過ごした登山家が、ついに登山用具を持たずに深い山奥に入ります。川魚と山菜を食べ、大自然の中で格闘し、その中から人が山に親しむ訳を見つけます。  
読者リクエストにより今回購入しましたが、2006年発行の単行本です。2009年に続編とも言える「狩猟サバイバル」が発行されたので、2冊同時に購入しました。  
実際にサバイバル登山をすることは難しいかもしれませんが、この本で少し触れてみるのもいいかもしれません。

## ★さいごのこいぬ



フランク アッシュ/著 (童話館出版)  
9匹の兄弟で最後に生まれたこいぬ。なにをやるにも一番最後。兄弟たちは新しい家族のもとに次々にもらわれていく。さいごのこいぬにも新しい幸せな家族ができるかな?

★朝日地区センターでは、今回ご紹介した図書の他にも話題の新刊や、旧作でもおすすめの図書を購入しています。貸し出し中の本については、予約も受け付けますので、お気軽にお申込みください。

- 1、ゆたかな緑ときれいな水をまもり美しい町をつくりましょう
- 1、互いに助け合い親切をつくり楽しい町をつくりましょう
- 1、産業をおこしみんなで働ける豊かな町をつくりましょう
- 1、教養を深め心と体をきたえ文化の町をつくりましょう
- 1、きまりを守り良い風習を育て住みよい町をつくりましょう

町民憲章

## ニホンカモシカ

哺乳綱偶蹄目ウシ科／麝鹿

シカという名前ですが、ウシ科の動物です。太い脚で岩場や急斜面を登り、只見では「くらっぽ」「くらしし」と呼ばれています。「くら」は岩場という意味です。

カモシカは好奇心旺盛で、里に近い崖地から私たちが眺めていることがあります。雪山の斜面に横切っている足跡をみつけたら、その前後をたどって探してみてください。



写真／目黒邦友さん

### 特別展示

○只見の民具とその素材展 平成23年2月28日(月)まで開催中！

### お知らせ

○ただみ・ブナと川のミュージアムは冬季も開館しています。  
休館日は、毎週火曜日です。

※この広報紙は再生紙を使用しています



※環境にやさしい大豆油インキを使用しています

## イベントカレンダー

2月

12・13日(土・日)

「第39回只見ふるさとの雪まつり」  
…JRR只見駅前広場」

14日(月)

「冬の郷土食フェア…町内食堂・旅館」  
「スノーアドベンチャー…只見スキー場」

3月

6日(日)

「スノーアドベンチャー…只見スキー場」

▼大根干しや打ち豆が、お土産に喜ばれています。出品してみませんか。詳しくはお気軽にお問い合わせください。

▼問い合わせ

一般社団法人

只見町観光まちづくり協会

☎0241-82-5250

営業時間 午前8時半～午後6時